

宮崎大学発 都農町かわら版

令和6年8月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町とし
て単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

☆☆都農に来る宮大のひとたち紹介☆☆

教育学部数学科 4 年生有志の皆さん

教育学部では入学前に専門教科を選びます。私たちは数学好きを生かしたくて、数学科を選びました。数学科には6研究室（ゼミ）あり、それぞれ数学の中でも分野が異なります。小中高校の教員免許を取得して、卒業後は主に学校教師としての就職を目指します。県内校の配属がわかるのは3月。都農町にもいつかご縁があるかもしれませんね。



8/20担当講師の3名

8/20-22、都農中学校3年生の夏休み特別講習
で数学塾を開講し生徒15名が参加しました。

今回の講師は、宮崎大学教育学部数学科
専攻の4年生8名。卒業前の教育実習や
教職試験を終えて一段落した学生たちが、
中学生に試験問題を丁寧に教えていました。

中学生はお兄さんお姉さんに教えてもらい「めっちゃ
わかりやすかった」大学生は「教えることの楽しさを改めて実感することがで
た」とお互いに良い時間だった様子。大学生との「さいころトーク」の時間
には、町や大学、将来についてなどを話し、中学生の刺激にもなったようです。



コラム つのまるケア講座 日常の一コマ by 枝元先生 医学部

4年前に都農で勤務していた際は、児湯地域でもコロナが初流行し祭りも中止という事態になっていましたが、今年はようやく都農の祭りを楽しむことができました。祭りの時期は人口が三倍になるという話を聞いたこともありましたが、本当に大賑わいでした。けんか神輿はまさに大迫力で素晴らしかったです。医療者としては熱中症や感染症の流行も気になりますがそれ以上に大事な文化を守るお手伝いをさせていただきたいと思いました。（枝元）



☆☆ 今月の研修医 ☆☆

益山典子(ますやまのりこ)先生

8/1~8/30研修

@町立病院



都城市出身 趣味：カフェ巡り、バドミントン

ひと言：1ヶ月間、地域医療の研修でお世話になります。月初めの夏祭りに行かせていただき、温かく素敵な町だと感じました。短い期間ではありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

8/8 けんこう講話巡回講座 上・中苺生地区

今回は町立病院の中村行人先生が「病気の告知」についてお話ししました。自分が重い病気にかかってしまった時に病名を教えてほしいか、また家族が病気になった時に教えるべきか、それとも知らせずに治療してもらうか。知ったほうが治療を頑張れる方もいれば、落ち込んでしまって生きるのを諦めてしまう場合もあるそうです。とても難しいことですが、元気なうちに自分はどうか、という話を家族と共有しておくことが大切です。

次は9/10山末地区、9/11平山地区で開催します。我が地区でも、という巡回リクエストは財団へご連絡ください。



1年生による22枚の都農町地域資源マップが完成。 HPにて全マップを一挙公開中。

5月に町歩きをした22班90名の1年生によるグループワークの成果、地域資源マップが完成し、クラス内投票コンテストの結果が7/31の最終授業で発表されました。学生自らが選んだ最優秀賞は分子村付近を散策した14班。エリア分け地図、作品を講座HPに掲載しています。

是非お住まい近くの班のマップを開いて、学生の視点や気づきをご覧ください。ただければ幸いです。

地域に出て、自分の目と耳で感じ、考えるフィールドワークの楽しさを実感した学生たちでした。



マップ一覧



出口ゼミ、歩行と車の津波避難訓練アンケートを実施

下浜、福原尾地区で6月末に配布した津波避難に関するアンケートは70名の回答を頂き、集計した結果を両地区自治会長あてに8/6お届けしました。

アンケートでは、地区特有の事情を鑑み、歩行困難者の存在の把握、自動車での避難の検討について意見を聞きました。

実態を鑑み、避難に15分以上要することが想定される世帯の避難手段として自動車を検討するために、今後歩行に併せて自動車を活用した避難訓練を実施し、事故や渋滞の発生の恐れを実証する必要性を提案しました。

7/20 PBL I 南新町にてお楽しみ会を開催しました！

PBLは企画、実践の中で力を養う授業です。今年度のPBL初めての自主企画はお楽しみ会。チラシ作成、焼きそば振る舞い、ゲーム、アンケートの4チームに分かれて計画、準備をしました。子どもたちをはじめ、約50名のご参加をいただき、学生ならではの工夫に満ちた楽しませ方で、会場は笑顔があふれていました。昨年参加の二年生も駆けつけ、一年生20名と皆で力を合わせて作り上げたイベントの成功は、学生の確かな自信になりました。

後期も様々なイベント企画を実践していきます。



8/8 中学生大学訪問 宮大に行ってきました！

夏休みの恒例となった中学生と保護者の宮崎大学訪問ツアー。役場からバスで出発して生徒11名、保護者6名の17名が参加しました。

今年のミニ講座は工学部機械知能プログラムの李研究室によるロボット講座。ロボット技術で社会に貢献する研究の紹介や、生徒が大学生に教わりながらプログラムを操作するロボット体験がありました。

農業博物館では、見たことのない標本や研究材料の数々の展示に興味深々でした。

お昼の学食体験や地域学部2年生との質問コーナーで大学生活の話聞くなど大学の雰囲気を感じることができました。



8/18チャレフロ「デジタルお絵描き体験講座」

かわら版7月号表紙でご紹介した宮大ドットキューブ主催の未来クリエイターズ育成講座。第一回講座に小中学生8名と保護者の計13名が参加しました。ペンタブレットを使って塗り絵に挑戦し、思い思いの色やペン種を使ったオリジナルのぴよんが完成しました。町長も来られて見守る中、大学生には教えることが学びとなりWinWinでした。宮日新聞に当日の様子が掲載されました(8/21)。



次回は、9/22（日）パソコン分解＆組立て講座（要申込）。PCの中身はどうなっている？大学生と一緒に学んでみよう！9月上旬にチラシを学校配布します。ご参加お待ちしております。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2024年8月23日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）